

男女共同参画及び女性活躍推進に関するアンケート調査 ご協力をお願い

町民の皆さまには、日ごろから町政へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

町では、今年度を「女性が輝くコンパクトシティ松田元年」と位置づけ、町の男女共同参画社会の実現を目指す計画である「松田町男女共同参画プラン（仮称）」や、女性を取り巻く様々な環境や制度を包括的に整備することを目的とした町独自の行動計画である「松田町女性活躍総合戦略（仮称）」の策定に取り組んでおります。これら計画の策定に向けた基礎的な資料とさせていただくことを目的に、町民の皆さまへアンケート調査を実施することとしました。

この調査は、平成 29 年 11 月 10 日現在、町内にお住まいの 18 歳以上の方の中から、無作為に抽出された 2,000 名の方に、ご協力をお願いするものです。

調査結果は、すべて統計的に処理・分析いたしますので、個人の回答がそのまま公表されることはありません。また、他の目的に使用することはありません。

今年もあと僅かとなり、お忙しいところとは存じますが、何卒ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

平成 29 年 11 月 30 日

松田町 政策推進課

調査についてのお問い合わせ先とアンケート票回収についてのお願い

- このアンケートは、宛名のご本人様ご自身のお考えでご回答ください。
- ご記入は、黒または青のボールペンで、はっきりとご記入ください。
- ご記入いただいたアンケート票は、お手数ですが、**同封の返信用封筒をご使用いただき、12 月 14 日までに郵便ポストへご投函**くださいますよう、お願い申し上げます。

«問合せ先»

松田町 政策推進課 経営戦略係 市丸・青山

TEL : 0465-83-1222 (政策推進課 直通) ※平日 8:30~17:15

《あなた自身のことについて》

F 1 あなたの性別をお答えください。(該当するもの1つに○)

- ア. 男性 イ. 女性

F 2 あなたの年齢をお答えください。(該当するもの1つに○)

- ア. 18、19 歳 イ. 20～29 歳 ウ. 30～39 歳
エ. 40～49 歳 オ. 50～59 歳 カ. 60～69 歳
キ. 70～79 歳 ク. 80 歳以上

F 3 現在生活をともにしているご家族の構成は、次のいずれに該当しますか。

(該当するもの1つに○)

- ア. ひとり暮らし (単身世帯)
イ. 夫婦のみの世帯、又は、パートナーとの共同生活
ウ. 親と子からなる世帯 (あなたが「親」又は「子」に該当)
エ. 親と子と祖父母からなる世帯 (あなたが「親」、「子」又は「祖父母」に該当)
オ. その他の世帯 ()

F 4 あなたの住まいの地区はどちらですか。(該当するもの1つに○)

- ア. 松田惣領
イ. 松田庶子
ウ. 神 山
エ. 寄

F5 松田町に居住して何年ですか。

- ア. 5 年未満
イ. 5～9 年
ウ. 10～19 年
エ. 20～39 年
オ. 40 年以上

F6 あなたはご結婚されていますか。(該当するもの1つに○)

- ア. 既婚 (配偶者あり)
- イ. 既婚 (配偶者なし…離別・死別)
- ウ. 未婚 (パートナーあり)
- エ. 未婚 (パートナーなし)

F7 あなたと配偶者・パートナーの職業はどのような内容ですか。

(該当するものに○)

(1) あなたの職業

- ア. 会社員 イ. 公務員 ウ. 自営業 エ. 家事専業
- オ. 学生 カ. アルバイト・パート キ. 無職
- ク. その他 ()

(2) (現在、配偶者・パートナーがいる方のみ) 配偶者・パートナーの職業

- ア. 会社員 イ. 公務員 ウ. 自営業 エ. 家事専業
- オ. 学生 カ. アルバイト・パート キ. 無職
- ク. その他 ()

F8 あなたに子どもはいますか。(該当するもの1つに○)

- ア. いる
- イ. いない

F9 (子どもがいる方) 一番下のお子さんの年代は、現在次のいずれに該当しますか。(該当するもの1つに○)

- ア. 小学校就学前
- イ. 小学生
- ウ. 中学生
- エ. 高校生
- オ. 専門学校、短大、大学、大学院生
- カ. その他 ()

F 10 現在、家庭内に、介護（介助）を必要とする方はいますか。

(該当する回答欄に○)

介護対象者の年齢区分	介護（介助）が必要な家族	
(1) 現役世代（0～64歳）	ア. いる	イ. いない
(2) 前期高齢者（65～74歳）	ア. いる	イ. いない
(3) 後期高齢者（75歳以上）	ア. いる	イ. いない

F 11 次にあげる言葉を知っていますか。（下記の該当する回答「ア～ウ」欄にそれぞれ○）

	知っている	ある聞いたことが	知らない
(1) 男女共同参画社会	ア	イ	ウ
(2) 女子差別撤廃条約 (女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約)	ア	イ	ウ
(3) ドメスティック・バイオレンス（DV） (配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあった者から振るわれる暴力)	ア	イ	ウ
(4) セクシャル・ハラスメント（性的嫌がらせ）	ア	イ	ウ
(5) ポジティブ・アクション（積極的改善措置）	ア	イ	ウ
(6) ジェンダー（文化的・社会的に作られた性差）	ア	イ	ウ
(7) ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	ア	イ	ウ
(8) ダイバーシティ（多様性）	ア	イ	ウ
(9) LGBT（性的マイノリティ）	ア	イ	ウ

I. あなた自身の社会全体における男女の平等感

問1 次にあげる8つの項目で、あなた自身が置かれている状況で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(下記の項目に該当する回答「ア～カ」欄に○)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
(1) 家庭生活（家事、育児等）	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
(2) 職場	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
(3) 学校教育の場	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
(4) 政治の場	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
(5) 法律や制度の上	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
(6) 社会通念・慣習・しきたり 等	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
(7) 自治会やPTAなどの地域 活動の場	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
(8) 社会全体	ア	イ	ウ	エ	オ	カ

問2 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考えがありますが、あなたはこの考えに賛成ですか。(該当するもの1つに○)

- ア. 賛成する
- イ. 賛成しない
- ウ. わからない

Ⅱ. 職場・地域における男女共同参画

問3 「仕事」での様々な場面において、性別による格差を感じる（又は、感じた）ことがありますか。（下記の項目に該当する回答「ア～カ」欄に○）

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
(1) 募集・採用	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
(2) 賃金	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
(3) 仕事の内容や役割	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
(4) 昇進・昇格	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
(5) 管理職への登用	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
(6) 評価（人事・業績など）	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
(7) 研修の内容や機会	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
(8) 働きやすい雰囲気	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
(9) 育児・介護休暇などの取 のしやすさ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
(10)勤務形態の選別	ア	イ	ウ	エ	オ	カ

問4 これまでに、育児休暇・休業 や 介護休暇・休業 を取得したことはありますか。（該当するもの全てに○）

- ア. 産前産後休暇を取得したことがある（期間： 年 ヶ月間）
 イ. 子の看護休暇を取得したことがある（期間： 年 ヶ月間）
 ウ. 育児休業を取得したことがある（期間： 年 ヶ月間）
 エ. 介護休暇を取得したことがある（期間： 年 ヶ月間）
 オ. 介護休業を取得したことがある（期間： 年 ヶ月間）
 カ. どちらも取得したことはない

問 5 これまでに、仕事を辞めた経験がありますか。(該当するもの1つに○)

- ア. ある
- イ. ない

問 6 (仕事を辞めた経験がある方のみ) 仕事を辞めた主な理由は何ですか。

(該当するもの全てに○)

- ア. 心身の健康上の理由のため
- イ. 家事や育児に専念するため
- ウ. 家事や育児との両立が困難であるため
- エ. 高齢者や病人の介護のため
- オ. 経済的に働く必要がなくなったため
- カ. 賃金や待遇等で勤務先や仕事の内容に不満があったため
- キ. 勤務先の人間関係のため
- ク. 結婚、出産(自主的に)のため
- ケ. 勤務先で、結婚退職、出産退職の慣行があったため
- コ. 夫(妻)の転勤のため
- サ. 家族の反対や無理解のため
- シ. 定年退職したため
- ス. その他 ()

問 7 (仕事を辞めた経験がある方のみ) 仕事を辞めた後、再就職しましたか。

(該当するもの1つに○)

- ア. した(している)
- イ. したかったが、出来なかった
(理由:)
- ウ. していないが、今すぐにでも再就職を希望する(フルタイムでの就業)
- エ. していないが、今すぐにでも再就職を希望する(パート・アルバイトでの就業)
- オ. していないが、子育てや介護、健康の理由等が落ち着いたら考えたい
- カ. していないし、今後も再就職する予定はない

問 8 男女が対等に就労でき、女性が安心して長く働き続ける職場環境をつくるには、どのようなことが必要だと思いますか。(最も該当するもの3つに○)

- ア. 女性の雇用機会の拡大
- イ. 能力・成果主義での評価に基づく昇進・給与設定
- ウ. 育児・介護休業制度等の充実
- エ. 時短勤務や在宅勤務など柔軟な勤務形態の導入
- オ. 育児・介護に対する支援や施設、サービスの充実
- カ. 男性中心の会社の運営体制の見直し
- キ. 職場の理解や同僚の協力
- ク. 家族の理解と協力
- ケ. 女性の就業に対する意欲や能力の向上
- コ. 男性の意識改革
- サ. パートタイマー等の雇用条件の改善
- シ. 職場における様々なハラスメントの抑制
- ス. その他 ()
- セ. わからない

問 9 地域活動においても、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みが重要といわれますが、地域活動の中で特に重要なものとして、防災活動が挙げられます。あなたは、防災や災害対策において、性別に配慮した対応が必要だと思いますか。(該当するもの1つに○)

- ア. 必要がある
- イ. どちらかといえば必要ある
- ウ. どちらかといえば必要ない
- エ. 必要がない
- オ. わからない

Ⅲ. 仕事、家庭生活、地域・個人の生活の調和について

問 10 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度について、以下の設問にお答えください。

「仕事」：個人事業主、雇用者、被雇用者等として週1時間以上働いていること。

「家庭生活」：家族と過ごすことや、家事、育児、介護・看護等。

「地域・個人の生活」：地域活動、学習・研究・学業、趣味・娯楽、スポーツ等。

(1) あなたの希望に最も近いものは、どれですか。(該当するもの1つに○)

- ア. 「仕事」を優先したい
- イ. 「家庭生活」を優先したい
- ウ. 「地域・個人の生活」を優先したい
- エ. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
- オ. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- カ. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- キ. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- ク. わからない

(2) あなたの現実に最も近いものは、どれですか。(該当するもの1つに○)

- ア. 「仕事」を優先している
- イ. 「家庭生活」を優先している
- ウ. 「地域・個人の生活」を優先している
- エ. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
- オ. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- カ. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- キ. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- ク. わからない

問 11 あなたが育児・家事や介護・看護に費やしている時間は、平均して一日どのくらいですか。10分単位でご記入ください。

分

IV. セクシャル・ハラスメントについて

問 12 これまでに、職場や学校、地域などで、以下のような性的な嫌がらせを受けたことがありますか。(該当するもの全てに○)

- ア. 不必要に肩や尻や髪など体に触れられた
- イ. 体をじろじろ見られた
- ウ. 交際や性的関係を迫られた
- エ. 交際や性的関係を拒否した人から不当な扱いや嫌がらせを受けた
- オ. 宴会でお酌やデュエットを強要された
- カ. 週刊誌などのヌード写真や水着写真などを見せられた
- キ. 性的な冗談やひやかしなどを言われた
- ク. 性的な経験についてたずねられた
- ケ. 性的なうわさを流された
- コ. 年齢や容姿のことで不愉快な意見や冗談を言われた
- サ. 異性との交際関係や結婚、出産について度々聞かれた
- シ. 「女(男)のくせに」などの発言をされた
- ス. 頻繁に電話をかけてきたり、メールを送ったりしてきた
- セ. 性的な嫌がらせを受けたことはない
- ソ. その他 ()

問 13 セクシャル・ハラスメントをなくすためには、どのような取組が必要だと思えますか。(該当するもの全てに○)

- ア. 相談窓口の設置や指導の強化
- イ. 事業所内でのチェックや相談
- ウ. セクシャル・ハラスメントを禁止するための制度の充実
- エ. セクシャル・ハラスメントは人権侵害だという社会意識の醸成
- オ. その他 ()

V. ドメスティック・バイオレンス（DV）について

問 14 親しい間柄の異性間における下記の行為は、暴力だと思いますか。

（該当するもの全てに○）

- ア. 命の危険を感じるくらいの暴力を受けた
- イ. 殴る、蹴るなどして医師の治療が必要となるくらいの暴力を受けた
- ウ. 平手で打つ、こづくなどの傷ができない程度の暴力を受けた
- エ. いやがっているのに性的な行為を強要されたり、ポルノビデオ・雑誌を見せられたりした
- オ. 「殺してやる」などとおどかされたり、大声でどなられたりした
- カ. 携帯電話やスマートフォンのメールや通話履歴を細かく監視された
- キ. 交友関係や外出を制限された
- ク. 十分な生活費が渡されなかったり、使いみちを問い詰められたりした
- ケ. ものを投げられたり、無視されたりした
- コ. その他（ ）

問 15 親しい間柄の異性間で、実際に下記の行為を受けたことがありますか。

（該当するもの全てに○）

- ア. 命の危険を感じるくらいの暴力を受けた
- イ. 殴る、蹴るなどして医師の治療が必要となるくらいの暴力を受けた
- ウ. 平手で打つ、こづくなどの傷ができない程度の暴力を受けた
- エ. いやがっているのに性的な行為を強要されたり、ポルノビデオ・雑誌を見せられたりした
- オ. 「殺してやる」などとおどかされたり、大声でどなられたりした
- カ. 携帯電話やスマートフォンのメールや通話履歴を細かく監視された
- キ. 交友関係や外出を制限された
- ク. 十分な生活費が渡されなかったり、使いみちを問い詰められたりした
- ケ. ものを投げられたり、無視されたりした
- コ. その他（ ）
- サ. このような行為を受けたことはない

問 16 (問 15 で「ア～ケ」の行為をされたことがある方) あなたの受けた行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。

(該当するもの1つに○)

- ア. 相談した
- イ. 相談が出来なかった
- ウ. 相談しようとは思わなかった

問 17 (問 16 で「イ」又は「ウ」と回答した方) あなたが誰(どこ)にも相談出来なかったのはなぜですか。(該当するもの全てに○)

- ア. 誰(どこ)に相談してよいのか分からなかったから
- イ. 恥ずかしくて誰にも言えなかったから
- ウ. 相談しても無駄だと思ったから
- エ. 相談したことが分かれると仕返しや、更にひどい暴力を受けると思ったから
- オ. 自分さえ我慢すればこのままやっていくことが出来ると思ったから
- カ. 世間体が悪いから
- キ. 他人を巻き込みたくないから
- ク. 思い出したくないから
- ケ. 自分に悪いところがあると思ったから
- コ. 相談するほどのことではないと思ったから
- サ. その他 ()

問 18 DVに関する相談が可能な窓口として、以下が挙げられます。あなたは以下の窓口を知っていましたか。(該当するもの全てに○)

- ア. 民生委員
- イ. 人権擁護委員
- ウ. 町役場
- エ. 神奈川県配偶者暴力相談支援センター(女性のためのDV相談窓口等)
- オ. 女性の人権ホットライン
- カ. かながわ男女共同参画センター
- キ. 神奈川県警察・松田警察署
- ク. 知らない

VI. 性的マイノリティ (LGBT) *について

問 19 現代社会は、性的マイノリティの方々にとって、偏見や差別などがなく、生活しやすい社会であると思いますか。(該当するもの1つに○)

- ア. 思う
- イ. どちらかといえば思う
- ウ. どちらかといえば思わない
- エ. 思わない
- オ. わからない
- カ. その他 ()

問 20 性的マイノリティの方々により生活しやすくなるためにどのような対策が必要だと思いますか。(最も該当するもの3つに○)

- ア. 行政が市民等へ周知啓発を行う
- イ. 相談窓口等を充実させ、その存在を周知する
- ウ. 生徒や市民への対応を想定し、小中高などの学校教員や行政職員への研修等を行う
- エ. 法律等に、性的マイノリティの方々への偏見や差別解消への取り組みを明記する
- オ. 当事者や支援団体、行政等を交えた連絡、意見交換を行う
- カ. 働きやすい職場環境づくりの取組を行う
- キ. わからない
- ク. その他 ()

*性的マイノリティとは…

私たちのなかには、生物学的な性（からだの性）と性の自己意識（こころの性）が一致しない人、性的指向（人の恋愛・性愛がどういう対象に向かうのかを示す概念）が、同性や両性（男女両方）に向いている人などがいます。社会的には少数派となるそうした人たちのことを「性的マイノリティ」といいます。性的マイノリティのカテゴリーを表す言葉の一つとして「LGBT」があります。

（神奈川県ウェブサイト「性的マイノリティ (LGBT)」より）

Ⅶ. 男女共同参画に係る重視すべき行政の施策について

問 21 男女共同参画社会を実現するためには、町は今後どのようなことに特に力を入れていくべきだと思いますか。(最も該当するもの全てに○)

- ア. 女性に不利な慣習の見直し
- イ. 関係する制度の制定や見直し
- ウ. 男女共同参画全般についての意識啓発、広報活動の充実
- エ. 男女共同参画の視点に立った教育や学習の充実
- オ. 子どもの頃からの男女共同参画教育
- カ. 男女が共に働きやすい就業環境の整備
- キ. 女性の採用や再就職のための就業支援
- ク. 各種保育や介護サービスの充実等、仕事と家庭生活等の両立支援
- ケ. 行政機関・教育機関・企業等における女性管理職の積極的登用の促進
- コ. 審議会等、政策や方針決定過程への女性の積極的起用
- サ. 経営者・企業トップの意識啓発
- シ. 地域や団体で活躍出来る女性リーダーの育成
- ス. 女性の再就職や起業を支援する相談や情報提供等の施策の充実
- セ. 配偶者等からの暴力被害の阻止、根絶や相談・救援体制の充実
- ソ. 男性も対象とした各種講座や相談活動の充実
- タ. 男女共同参画社会実現のための各種情報の提供や団体交流、調査研究等を実施する拠点機能の充実
- チ. その他 ()

問 22 男女平等や男女共同参画等について普段感じていること、ご意見、ご要望等がございましたら、自由にご記入ください。

具体的に：

Ⅷ. 町への定住や町の魅力等について

(これ以降は、町での生活や居住環境に関する設問です。)

問 23 松田町への居住年数及び今後の継続居住の意向

(該当するもの、それぞれ1つに○)

(1) あなたは生まれた時から松田町に住んでいますか。

- ア. はい (生まれてからずっと松田町に住んでいる)
- イ. いいえ (他の市町村で生まれ、松田町に転居してきた)
- ウ. Uターン (松田町で生まれ、一度転出し、再び町に転居してきた)

(2) 今後も、松田町に住み続けたいと思いますか。

- ア. 住み続ける予定である、又は、住み続けたいと考えている
- イ. 転出を検討している
- ウ. 転出する予定である
- エ. その他 ()

(3) (町外への転出を検討している、又は、転出する予定の方) その理由は何ですか。(該当するもの全てに○)

- ア. あなたの仕事の都合
【就職 転職 転勤 退職 起業 その他 ()】
- イ. 配偶者 (パートナー) の仕事の都合
【就職 転職 転勤 退職 起業 その他 ()】
- ウ. 親 (子) の仕事の都合
【就職 転職 転勤 退職 起業 その他 ()】
- エ. あなたの学校の都合
【進学 通学 その他 ()】
- オ. 子どもの学校の都合
【進学 通学 その他 ()】
- カ. 住宅の都合
【広さ 設備 家賃 治安 周辺環境 その他 ()】
- キ. 結婚のため

- ク. 出産や療養のため
- ケ. 親などの介護のため
- コ. 親や子ども、その他の親族との同居や別居のため
- サ. その他()

問 24 松田町に対して、どのような印象・イメージをお持ちですか。

(該当するもの全てに○)

- ア. 自然（公園や緑地など）が豊かである
- イ. 街並みや景観、雰囲気が良い
- ウ. 水がおいしい
- エ. 物価が安い
- オ. 静かな住環境である
- カ. 教育環境がよい
- キ. 子育て環境が充実している
- ク. 公共施設が整っている
- ケ. 道路や公園など、都市基盤が整備されている
- コ. スポーツやアウトドアを楽しめる
- サ. 祭りやイベントがある
- シ. 住んでいる人の人情や気風がよい
- ス. 住んでいる人が優しい
- セ. 犯罪が少ない
- ソ. 地価や家賃が手頃である
- タ. 知名度が低い
- チ. まちに個性がない
- ツ. 保守的・閉鎖的である
- テ. 街並みが古い
- ト. 子どもが少ない
- ナ. 駅周辺が狭く、活気がない
- ニ. 買い物が不便である
- ヌ. 渋滞が激しい
- ネ. 都心部から遠く、交通や生活が不便である
- ノ. その他()

**問 25 普段、子育てやライフスタイルに関する様々な情報を、どのように入手
していますか。(該当するもの全てに○)**

- ア. 個人や民間団体によって開設されているサイト
- イ. 情報誌やフリーペーパー
- ウ. Facebook、LINE、Twitter などの SNS
- エ. 自治体やその関連団体のホームページ
- オ. 自治体やその関連団体の広報誌
- カ. テレビやラジオの報道や番組など
- キ. 友人・知人
- ク. 家族や親戚
- ケ. 自治会や近隣の方
- コ. その他 ()

**問 26 松田町をずっと住み続けたいと思える街にしていくためには、どうすれ
ばいいと思いますか。(最も該当するもの3つに○)**

- ア. 住みやすい・オシャレ等の地域のブランド構築する
- イ. 教育や文化的な環境をよくする
- ウ. 子育て支援政策（保育園整備、保育料軽減、出産祝い金等）を充実させる
- エ. 住宅政策（家賃補助・住宅手当等）を充実させる
- オ. 自然環境や景色・景観を保全する
- カ. 医療機能や福祉を整備・充実させる
- キ. 地域内交通（コミュニティバス、デマンド交通）の充実させる
- ク. 都心部などへの交通利便性の向上させる
- ケ. 商店街を振興させる
- コ. 買い物の利便性を高める
- サ. カフェやレストランなどの飲食店を増やす
- シ. 娯楽施設を誘致する
- ス. 企業を誘致し、働く場を創出する
- セ. 自然産業（農林水産業や6次産業、特産品開発等）を推進する
- ソ. 就労支援（職業研修、就労先紹介等）を充実させる
- タ. 防犯や交通事故防止など、安全対策を強める

- チ. 観光・交流産業を推進する
- ツ. 地域活動（自治会、婦人会、地域の防災組織、子ども会等）や地域イベントを充実させる
- テ. 分からない・知らない
- ト. その他（ ）

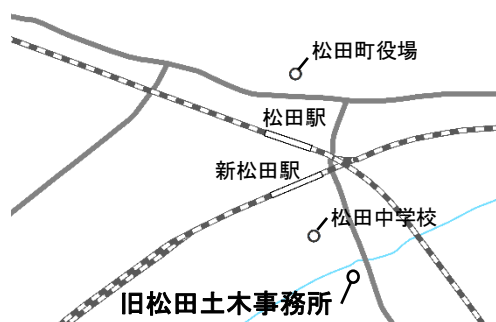
問 27 松田町の魅力や良いところ（お勧めしたいところ）は何ですか。理由も添えて、ご記入ください。

具体的に：

旧松田土木事務所の改修についてアンケート調査のお願い

町では、「松田町女性活躍総合戦略（仮称）」の一環として、旧松田土木事務所（下図）を複合施設に改修し、女性が輝き、活躍するための拠点として、整備することを検討しています。本アンケートは、旧松田土木事務所の改修等の検討に伴い、幅広い観点から、ご意見をいただきたく、ご協力をお願いします。

「問合せ先」 松田町 定住少子化担当室 定住少子化対策係 岩田・鎌田
TEL 0465-84-5541（直通）



問 1 今後の旧松田土木事務所の改修等に伴い、必要だと思う施設や機能があればお書きください。例：交流カフェ・子育て支援施設・コワーキングスペース

具体的に：

問 2 その他、旧松田土木事務所の改修に関し、ご意見・ご要望があればお書きください。

具体的に：

設問は、以上です。

お忙しいところ、ご協力をいただきまして、ありがとうございました。ご記入いただいたアンケート票は、お手数ですが、同封の返信用封筒をご使用いただき、12月14日までに郵便ポストへご投函くださいますよう、お願い申し上げます。